

9-2

市川量造・松本農事会植物試験場

明治5年1月松本城天守は競売に付され235両余で落札されました。このことを知った市川量造らは天守において博覧会を開き、資金を集め落札者から買い戻し天守を残すことに成功したと伝えられています。明治6年から明治9年にかけて5回の博覧会が天守を中心にひらかれました。今回は松本城天守残置に貢献した市川量造についてお尋ねします。

- 1 右の写真は明治4年3月撮影された市川量造の写真ですがこのとき市川は何歳だったでしょう。 ②27歳

1844年(弘化元年)誕生~1908(明治41年)没
明治4年は1871年



2. 明治5年11月27日松本城天守において博覧会を開くため「博覧会建言書」を提出しますが誰宛に提出したのでしょうか。

③筑摩県参事永山盛輝

- 3 建言書を提出したときに書かれている市川量造の肩書は次のうちどれでしょう。

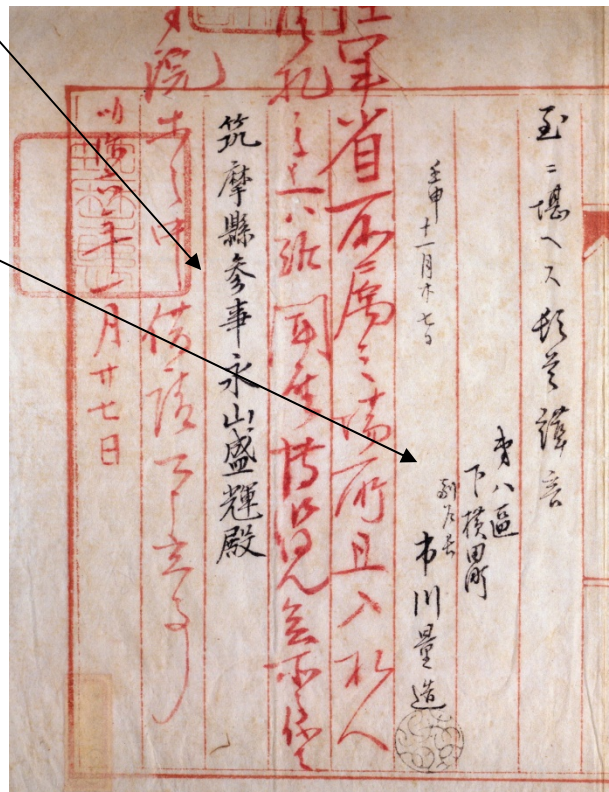
③下横田町副戸長

- 4 明治6年1月27日天守使用は不許可の通知があった。その主な理由は2つありました。○を2つ付けて下さい。

①天守は陸軍省に所属しているので貸与できない。

③すでに天守は落札されているのでこれを貸与することはできない。

※朱の文字に永山からの回答が書かれている。博覧会は寺院などを借りて開催してはどうかと回答している。



5 この建言書にはおおよそ次のような文言があります。□の中に当てはまる言葉に○を付けてください。

①ウイーン 明治6年5月1日よりオーストリア・ウイーン万国博覧会が「開催された。そのウイーン万博のミュージアムに松本城天守を見立てたわけである。

1851年ロンドン万博 水晶宮（クリスタルパレス）

1867年パリ万博 幕府・薩摩・佐賀藩参加

1873年ウイーン万博 1876年アメリカ フィラデルフィア万博

国内生産物の輸出市場の拡大と海外の産業や技術情報を集める目的で日本は参加。新政府はウイーン万博初参加。

6 明治6年9月20日、再度博覧会開催を願う「天守櫓 拝借懇願書」提出し、許可されます。同年11月1日から12月24日まで、第1回筑摩県博覧会が開催されました。右図は博覧会の錦絵ですが正しいものに○をつけなさい。

③ この錦絵は博覧会前に宣伝用につくられた博覧会の趣旨、目的が書かれている。大手門門台が描かれている。



7 市川量造はこれより先、明治5年10月窪田畔夫らと新聞社を作り新聞を発行し啓蒙活動に取り組みます。博覧会の様子も詳しく伝えています。その新聞名を答えなさい。

②信飛新聞 169号で休刊。「信」は信濃・「飛」は飛騨を表し筑摩県の新聞の意である。明治9年11月15日より松本新聞として再出発。

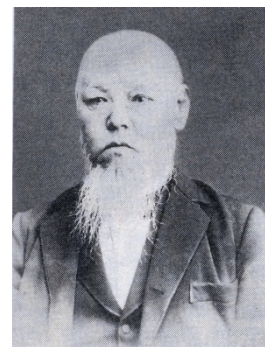
8 次のうち第1回筑摩県博覧会に出品されていたのはどれでしょう。

③ 奥国博覧会図 2枚が展示されていた。これは東京博覧会事務局よりの拝借品である。（出典「市川量造とその周辺」48p）

9 市川量造は自由民権運動に参加し国会開設運動にも活躍しました。のち南佐久及び下高井郡長を歴任し、退任後1887年甲信鉄道株式会社を設立し鉄道敷設に尽力しました。市川量造が属した自由民権運動の結社名を選びなさい。

① 奨匡社 自由民権運動の結社 上条蠅司・松沢求策は有名・市川は13年国会開設請願運動以後疎遠になっていく。

10 明治13年市川量造らは本丸を県から借入れ、果樹や野菜の試験場としました。そのおり技術指導を右写真の人物が経営する「東京学農舎」に仰ぎました。そして、松本平の農業の発展に尽くしました。右写真の人物の名前を答えなさい。



① 津田 仙 本幕臣・通弁 1873年ウイーン万国博覧会に西洋の農業事情習得に派遣される。津田梅子の父。